



平成 29 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T T K
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 土 肥 幹 夫
(コード番号 1935 東証第 2 部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 経 営 企 画 本 部 長
数 藤 崇
(TEL 022-297-5161)

TTKグループ「第5次中期経営計画」(平成29年度～平成31年度)に関するお知らせ

東北地域を主たる事業エリアとするTTKグループは、「震災まちづくり復興」事業への貢献を掲げ、平成26年度を初年度とする「第4次中期経営計画」を策定し、実行してまいりました。この過程で、TTKグループは、通信事業者の光コラボ事業を活用した「TTKきずな光」サービスのスタート、更なるソリューション事業の拡大、メーカー・ベンダとのアライアンス事業の推進や県域体制の強化を目的とする「パートナー事業推進部」の立上げなど、新たな事業領域の拡大に向けて、積極的に取り組んでまいりました。

今般、TTKグループは、平成29年度(平成30年3月期)を初年度とする「第5次中期経営計画」を策定し、第4次中期経営計画の実行過程における取組みについて更なる強化・安定を図りつつ、これを基盤とする成長戦略として、新たなコア事業を拡大・推進していくことといたしましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 「第5次中期経営計画」策定における事業環境と概要

TTKグループの事業を取り巻く主要な環境要素として、以下のような事項が挙げられます。

- ◆東日本大震災で大きな被害を受けた情報通信設備の「震災まちづくり復興」事業の遂行が、当初の計画より時間を要していることに伴う復興工事の継続。
- ◆通信事業者の光化設備投資が一巡し、「光サービス」のアウトソーシングによる光コラボレーション事業により、様々な事業者が付加価値を加えたソリューション事業

を展開。

- ◆スマートフォンやタブレット端末等のLTE（第3.9世代）から、IoT（Internet of Things）が主役となる第5世代に向けた設備環境の構築。
- ◆地方創生による地域や都市再生に向けた自治体等への投資や、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに関連した社会インフラ投資の拡大。

このような環境の中、TTKグループは、引続き被災地の「震災まちづくり復興」事業に貢献するとともに、東北エリアを中心とする社会インフラ事業、光コラボレーション事業及び各種アライアンス事業の強化に向け、TTKグループにおける技術力の向上や、受注・施工体制の強化を推進します。また、更なる生産性向上と業務の効率化を図り、持続的に企業価値を向上させ、もって、すべてのステークホルダーの共同利益向上に努めてまいります。

2. スローガン

第5次中期経営計画では第4次中期経営計画の取組みを足場とし、新たな事業領域の開拓と、次期以降に向けた堅固な土台作りを目標に、下記のスローガンを掲げ、更なる安定成長に向けて取り組んでまいります。

第5次中期経営計画 スローガン
“TTKグループ総力を結集した新たなコア事業へのチャレンジと飛躍”

3. 基本戦略

TTKグループは、既存事業における更なる生産性向上と業務の効率化により、売上と利益の最大化を図ります。また、東北全域での強固な事業基盤と通信工事で培った技術・ノウハウを活用し、成長戦略として以下の3つの事業を「新たなコア事業」として掲げ、事業領域の拡大に取り組めます。

- (1) 光コラボ関連事業の拡大
- (2) 環境土木工事の受注拡大
- (3) 電気工事の受注拡大

【成長戦略（新たなコア事業）の第5次中期経営計画における事業指標】

＜非通信キャリア設備工事売上高の拡大＞※

「平成28年度：35億円」 ⇒ 「平成31年度：65億円」

※非通信キャリア設備工事：通信キャリアの設備以外の工事

4. 重点項目

新たなコア事業分野

- ・東北全域における社会インフラ事業への果敢な営業展開と売上拡大
TTKグループの相互連携による戦略的な入札チャレンジと果敢な営業展開により、東北全域における自治体、官公庁、民間企業向けの電気、土木系各種インフラ設備工事の売上拡大を図ります。
- ・「TTKきずな光」のお客様に向けたソリューション提供とアカウント体制の充実
「TTKきずな光」のお客様を“マイユーザー”と位置づけ、県域張出し組織と連携した積極的アプローチによりオフィスソリューションを展開し、お客様との信頼関係を築いていきます。
- ・新たなコア事業拡大・成長戦略を支える人材育成と技術者確保
営業・入札スキルの強化、各種資格取得の拡大、マネジメントスキルの向上等、新たなコア事業の拡大に向けた人材の育成・確保につとめます。

従来事業分野

- ・安全施策の完全定着と新たな事業領域における品質の確保
「第4次中期経営計画」で推進してきた安全施工サイクルの完全定着を図り、設備事故及び人身事故ゼロ、また、品質面においても顧客満足度等の目標数値を達成する事で、顧客からの信頼を確保します。
- ・通信設備構築から保守までの一元的対応と、更なる設備改善提案で売上拡大
通信建設会社における設備運營業務の本格運用に伴い、通信設備の施工から設備保守までフルサポート体制で取組むとともに、積極的な設備改善提案による売上拡大と通信事業者からの信頼に応える高い品質を確保します。
- ・県域子会社のモバイル体制充実とNCC工事の売上拡大
子会社の複合スキル化により県域モバイル体制の自立化を図るとともに、積極的な受注活動によりNCC工事の拡大を目指します。
- ・「震災まちづくり復興」事業への継続的な貢献
被災した自治体の「震災まちづくり復興」事業が引続き見込まれることから、TTKグループ総力をあげて確実に貢献します。

5. 財務戦略

当社取締役会は、株主の皆様に対する適切な利益還元を重視しながら、TTKグループを取り巻く事業環境を勘案する中で、将来の事業拡大や設備投資等に向けた中長

期的な資金需要の可能性に備えることが、収益力・競争力の維持強化に必要であるとの認識から、「適切な株主還元と事業の維持・拡大に必要な内部留保」をバランスよく実施することを、利益配分の基本方針としております。

具体的には、平成 29 年度から平成 31 年度におきましては、経営環境の変化等により短中期的な資金需要が生じた場合を除き、配当性向 40%を目途（但し、1 株当たり 15 円を下回らない）に適切な株主還元を実施することを目標といたします。また、投資目標として、従来事業の維持・効率化と新たなコア事業開拓に向けた投資枠として、約 40 億円を設定いたします。

6. 達成すべき数値目標

平成 31 年度の TTK グループ連結ベースの数値目標については、売上高 340 億円、経常利益 16 億円（経常利益率 4.7%）を目指しております。

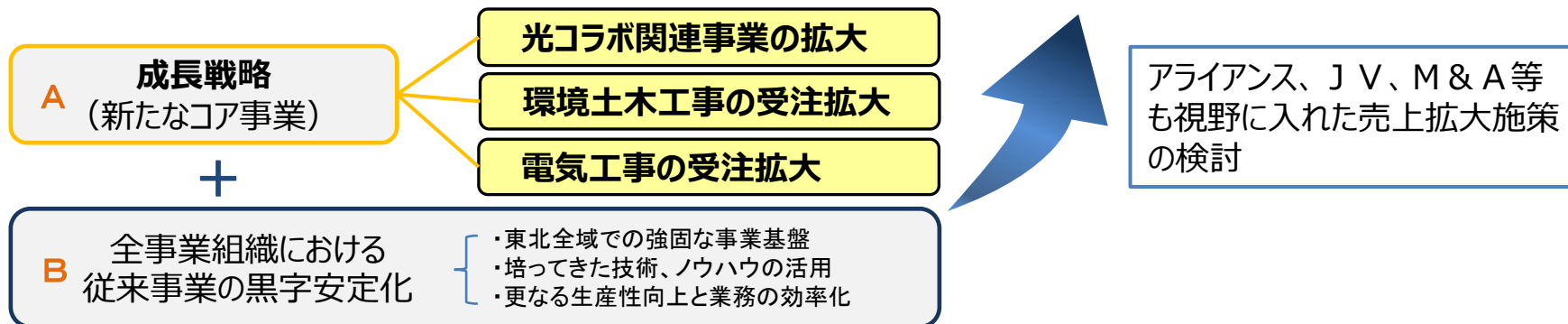
数値目標（連結）

	平成 31 年度
売 上 高	340 億円
経 常 利 益	16 億円

以 上

【スローガン】

TTKグループ総力を結集した新たなコア事業へのチャレンジと飛躍



【成長戦略(新たなコア事業)の第5次中期経営計画における事業指標】

非通信キャリア設備工事売上高 : H28年度 35億円 ⇒ H31年度 65億円
(※1) +30億円

※1 非通信キャリア設備工事: 通信キャリアの設備以外の工事(民需工事等)を示す

【重点項目】

- A**
 - ・「TTKきずな光」のお客様に向けたソリューション提供とアカウントサポート体制の構築
 - ・東北全域における社会インフラ事業への果敢な営業展開と売上拡大
 - ・新たなコア事業拡大、成長戦略を支える人材育成と技術者確保
- B**
 - ・安全施策の完全定着と新たな事業領域における品質の確保
 - ・通信設備構築から保守までの一元的対応と更なる設備改善提案で売上拡大
 - ・県域子会社のモバイル体制充実とNCC工事の売上拡大
 - ・「震災まちづくり復興」事業への継続的な貢献